

ホーケストラ・アンサンブル金沢

高岡特別公演 with 合唱団OEKとやま

TAKAOKA 音楽文化のまちづくり事業2019 / TAKAOKA 未来クリエーション

9/7²⁰¹⁹ 14:30開場
15:00開演

富山県高岡文化ホール大ホール



指揮
山下 一史
Kazufumi Yamashita
Conductor

岩河三郎:富山に伝わる三つの民謡
コダーイ:ブダ城のテ・デウム
コダーイ:ミサ・ブレヴィス



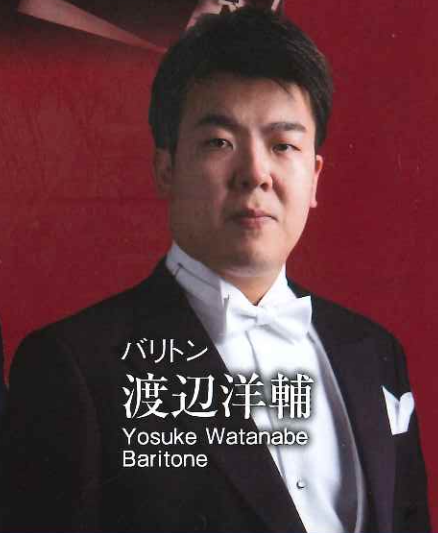
ソプラノ
金川 睦美
Mutsumi Kanagawa
Soprano



メゾ・ソプラノ
高野 百合絵
Yurie Takano
Mezzo-soprano



テノール
近藤 洋平
Yohei Kondo
Tenor



バリトン
渡辺洋輔
Yosuke Watanabe
Baritone

入場券(全席自由) 5月24日(金)発売開始

一般4,500円[OEK定期会員500円割引(石川県立音楽堂チケットボックスのみの取り扱い)]

学生(高校生以下) 1,500円

※当日券は各500円高 ※未就学児のご入場はご遠慮願います

前売りプレイガイド (公財)高岡市民文化振興事業団事業課(電話予約できます/0766-20-1560)

高岡市生涯学習センター3F、高岡市ふくおか総合文化センター

アーツナビ(富山県民会館、富山県教育文化会館、富山県高岡文化ホール、新川文化ホール)

アスネットカウンター、石川県立音楽堂チケットボックス

お問合せ (公財)高岡市民文化振興事業団 事業課 TEL 0766-20-1560(月・祝休)
オーケストラ・アンサンブル金沢 TEL 076-232-0171

やむを得ない事情により、出演者等が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

主催

(公財)石川県音楽文化振興事業団
(公財)高岡市民文化振興事業団
合唱団OEKとやま

共催

高岡市、高岡市教育委員会、
北日本新聞社、高岡ケーブルネットワーク

後援

富山県、(公財)富山県文化振興財団

協力

高岡市民会館ホールサポーターの会「ハーブル」

オーケストラ・アンサンブル金沢

高岡特別公演 with 合唱団OEKとやま

指揮 山下一史 Kazufumi Yamashita
Conductor

桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。カラヤンが亡くなるまで彼のアシスタントを務める。その後ヘルシンボリ響首席客演指揮者を務めた。日本国内ではN響を指揮してデビュー、以後主要オーケストラに定期的に出演、好評を得ている。これまでにアンサンブル金沢プリンスパル・ゲスト・コンダクター、九響常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス管常任指揮者ならびに名誉指揮者、仙台フィル指揮者ならびに正指揮者を歴任。シューマン作曲歌劇「ゲノフェーファ」日本舞台初演など、オペラ、オーケストラの両面においてますます注目を浴びている。現在、千葉交響楽団音楽監督として、「おらが街のオーケストラ」をキャッチフレーズに定期から音楽教室まで幅広く活動をしている。東京藝術大学音楽学部指揮科教授。



ソプラノ 金川睦美 Mutsumi Kanagawa
Soprano

武蔵野音楽大学声楽学科卒業。「第九」「メサイア」「テ・デウム」「レクイエム」「カンタータ」「億光年への響き」のソロを務め、オーケストラアンサンブル金沢、新星日響、大阪チェンバーオーケストラと共演。オペラでは「手古奈」「奥様女中」「魔笛」「ジャンニ・スキッキ」「アイダ」「耳なし芳一」「こうもり」「ラ・ボエーム」に出演。富山テレビやFMとやま主催でリサイタルを開き、17年に30周年記念リサイタルを成功させた。第35回全国豊かな海づくり大会記念式典に出演する他、各種演奏会で松尾葉子、池辺晋一郎、青島広志、山田和樹、S・ヴラダールと共演。第21回奏楽堂日本歌曲コンクール入選。現在、射水市新湊中央文化会館専属アーティスト。富山県オペラ協会芸術会員・理事。



メゾ・ソプラノ 高野百合絵 Yurie Takano
Mezzo-soprano

富山県富山市出身。東京音楽大学を首席卒業、同大学院修了。第65回全日本学生音楽コンクール全国大会第1位、第21回日本クラシック音楽コンクール全国大会第1位、第13回日本演奏家コンクール第1位、第71回全日本学生音楽コンクール第3位など各賞を受賞。18年ニッセイオペラ（コジ・ファン・トゥッテ）にドラベラ役で出演（広上淳一指揮、読売交響楽団）。そのほか、ソリストとして第九や宗教曲などを国内外のオーケストラと共演している。菅有実子氏、碓井智子氏、藤井奈生子氏に師事。



テノール 近藤洋平 Yohei Kondo
Tenor

横浜国際音楽コンクール第1位、大阪国際音楽コンクール第2位、イタリア声楽コンクール・ファイナリスト。サントリーホール オペラ・アカデミーにおいてジュゼッペ・サッパティエリ氏らに師事。「ラ・ボエーム」「ロドルフォ」「コジ・ファン・トゥッテ」フェランド、「魔笛」タミーノ、「電話」ベンなどオペラに出演多数。他にモーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」、ヘンデル「メサイア」にソリストとして出演。2016年、楽天×オリックス戦にて国歌独唱。様々なボーカルユニットに所属。シンガーソングライター・編曲家としても活動。



バリトン 渡辺洋輔 Yosuke Watanabe
Baritone

呉羽高校音楽コース、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を黒崎隆憲、長谷川顯、牧野正人、千代崎元昭の各氏に師事。ピアノを野上真理子、山崎道子、平井丈二郎の各氏に師事。「カルメン」「アッティラ」「魔笛」「フィガロの結婚」「こうもり」「ラ・ボエーム」「ジャンニ・スキッキ」「セヴィリアの理髪師」「泥棒とオールドミス」等のオペラに出演。また、第九交響曲や宗教曲、合唱曲のソリストを務めるほか、ガラコンサートや各種演奏会にも多数出演し幅広く活動している。富山県オペラ協会芸術会員、東京藝術大学同声会富山県支部会員。第26回富山県新人演奏会北日本新聞社賞受賞・富山県知事賞受賞、平成29年度富山県芸術文化協会奨励賞受賞。現在、富山県立呉羽高等学校教諭。



管弦楽

オーケストラ・アンサンブル金沢
Orchestra Ensemble Kanazawa

1988年、岩城宏之が創設音楽監督を務め、石川県と金沢市が設立した国内外奏者40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラ。

石川県立音楽堂を本拠地として年間約100公演を行う。2018年9月よりマルク・ミンコフスキを芸術監督として新たに迎える。

合唱団OEKとやま
Chorus OEK Toyama

平成28年まで「合唱団おおやま」の名称で、21年間21回にわたり毎年夏に富山市大山文化会館においてオーケストラとの共演による演奏会を開催してきた。この演奏会では、ラター、ペルト、ドブロゴス、佐藤賢太郎、ヤイロ、ミーラーなど、現代作曲家のミサ曲を数多く取り上げてきた。平成29年、富山県民会館で大編成の合唱団によるヴェルディのレクイエムを演奏するに当たり、「合唱団OEKとやま」と名称を改めた。オーケストラ・アンサンブル金沢との共演は通算22回目、指揮の山下一史氏とは16回目の共演となる。

合唱団員募集中。お問合せは谷崎(090-8093-7549)まで。
<http://www2.ctt.ne.jp/~ohyama/>

